

私の追想記

400勝投手・ 金田正一氏を偲んで

(株)アネムホールディングス

肥川 正嗣 会長兼社長

「長嶋は5連続三振だ。次の試合の第一打席でも三振を取った」。

そう豪語していたのを忘れません。金田さんとは20年以上のお付き合いで、名球会のハワイゴルフへの同行や当社の社員旅行にも、山本陽子・十朱幸代さんといった女優を連れて毎年参加していただきました。また、我が家の新築祝いにも王貞治さんや村田兆治さんと一緒に参加していただくなど、公私共に親しくお付き合いをさせていただきました。とにかく金田さんは語りきれないほど多くのエピソードがあり、今となってはその全てが良い思い出です。

ハワイでは毎年名球会のメンバーと入れ替わり立ち替わりゴルフや食事・飲み会に参加していました。ある日、野村克也・沙知代夫妻との食事会がありました。誰も行きたがらないので「ついて来てくれ」と頼まれ、4人で食事することに。話はともかく、金田さんも野村さん

コを吸い、私達は3人でじっと我慢し女傑サッチーの凄さを見せつけられました。翌日、野村監督を従えてショッピングをしているところでバッタリ。評判通りとても仲の良い夫婦でした。夜、ハワイのクラブで張本さん他4人と酒を飲んでみると、張本さんが名球会の経理は公私混同ではないかと言いだし、「ワシを信用できんのか」(金田)、「信用できません」(張本)と大口論となりましたが、衣笠さんが「そうは言ってもイベントの仕事を取って来るのは金田さんしかないからな」と一言。

名球会は株式会社で、社長金田、副社長 長嶋・王という構成で、私の目から見ても金田さんの公私混同は明らかかなように見えました。

金田さんの別荘がある山梨県の鳴沢で石原慎太郎さんとゴルフをした時、石原さんがあまり上手でなかったため、金田さんが「慎ちゃん」と呼びながらアドバイスをしていましたが、最後に石原さんが「あなたのレッスンに擬声語が多くてよくわか



2001年5月、岡山県野球場で開催された名球会でのイベントに招かれた際に撮った金田氏、長嶋茂雄氏、王貞治氏との貴重なショット

ヨッキで2杯と決めており、パ
ーティー等の人前では一杯目の
コップを一气飲みし、テーブル
にコップを音がするように置い
てもう一杯と豪快に見せるよう
なパフォーマンスをしても深酒
はしない。食事においても料理
を自分で作る程で、カロリーを
考えての美食家でした。

「ワシは女は千人斬りで溺

れることはない」と自慢してい
ました。東京のカネダ企画事務
所に行った時、机の奥から女性
の写真を自慢気に見せてくれま
した。ところが後日、事務所に
泥棒が入って机が荒らされ、写
真が見つかってしまい大恥をか
いたそうです。事務所の金庫か
らは5万円盗まれたとの発表で
したが、それを聞いた稲尾さん

が「名球会の事務
所も兼ねているの
だから、500万
円位と見栄を張っ
て言っただけかっ
た」と。

投手のコンデ
イションは、「虹
のようなもので
つかんでは消え、
消えてはつかむ
のくり返し」、野
球の理論は監督
になった時、選手
を指導するため
に後から考えた
とのこと。

ボールを指か
ら離す瞬間は指先



こいかわまさつぐ 福岡市東区出身。1947年生まれ。75年に学習塾を創業後、「明光義塾」を筆頭に「シェン英会話」、新教育ソフト開発「イーシア」など幅広く展開。近年は健康や福祉にも事業領域を拡大し、「タニタ食堂」・「ソフィアライフ」や自然と一体となる心身をいやす離れ「山華の正」を完成させている

らん、もう一度と習いたくない」
と笑っていました。

金田さんはハンディキャップ
が自称「0」という腕前で、そ
のレッスンの仕方は感覚で伝え
るもので、バンカーはVだ「バ
ーン!」「ダーン!」と打ち込
め、ドライバーは金玉を内もも
で挟みながらヒールターンだ、
松井秀喜と同じだ。「私は松井
には会っていませんが」と言う
と、「ワシや知つとる!」と意
味が分からないレッスン。

ちなみに長嶋さんのゴルフは、
ショットの前にクラブをくるく
ると回して、アドレスに入っ
たらいきなり打つので、アドレ

スの意味がなく「ひらめきショ
ット」です。監督時代のエピソードとして、「ピッチャー堀内」と言っただけでグアウトを出ようとして段差につまずいた瞬間に、別のピッチャーの名前を言い出すといった「ひらめき野球」で、感性で生きている金田さんでさえ「長嶋は何を考えているのか分からない」と言ったのは印象的でした。

鹿児島県の祁答院ゴルフ場で
のトーナメントの前にジャンボ
尾崎や直道とラウンドした時も、
プロを相手に競い合う程勝負好
きで負けず嫌い。私とゴルフを
する時もハンディをもらって

ましたが、負けそうになると褒
め殺し・泣き落とし・威嚇、あ
らゆる手を使って勝ちにこだわ
ります。

プロアマの夜・夕食後、2階
のスナックで細川たかし・山本
譲二・西郷輝彦等とカラオケ大
会が始まると、歌手の人は他人
の歌を歌い金田さんはいつも美
空ひばりの「リンゴ追分」を歌
います。その訳は、ひばりのひ
ざ枕でこの歌を習ったというの
が自慢でした。

竹村健二氏のパーティーに
行った時、偶然金田さんとお会
いしたら、「ワシの挨拶がない」
とぼやいていました。どの場面
でも自分が中心でないと気がす
まない性格でした。このパーテ
ィーで挨拶できるのは総理大臣
および中曽根康弘さんや竹下登
さんといった総理経験者で、大
臣クラスの挨拶はなく、勝新太
郎や加山雄三といった大物スタ
ーが順番に歌を歌い演奏すると
いった、とてもユニークなパー
ティーでした。

橋本龍太郎元総理と食事をし
た時に、橋本さんが金田さんの

で「ピュッ」という感じで投げ、
バッターが構えに入ったらすぐ
投げる。すると打つ準備ができ
ていないのでストライクが取れ
あと2つストライクを取れば三
振が取れる、それが極意だと真
顔で言っていました。

王さんがダイエーの監督にな
り成績が上がらなかった頃、戦
力補強の打合せで桜坂の寿司屋
で会って、その後ダイエーのコ
ーチのマンションで本人が帰っ
て来るのを待つことになりました
た。その家には小学生の男の子
がいてビニールのバットとボー
ルを持っていたので、王さんが
キャッチボールをしようと子供
に声を掛け、王さんが胸元めが
けて投げなさいと指導している
と、金田さんが「ワシが教える
と言って代わり、全身で力いっ
ぱい投げなさいと全力投球をレ
ッスンしていました。コントロ
ール重視の指導と速球重視の指
導で、指導者によって教え方が
変わる良い見本を見ました。

後日、このことを小学生の子
供が学校の作文に書いたところ、
先生から母親に電話があり、お

ことを「親分」と呼び、金田さ
んは「龍ちゃん」と呼び、大変
親しげでしたが、総理経験者が
親分と呼ぶのも不思議な感じで
した。

400勝を挙げるには、ダ
ブルヘッターで1日2勝上げ
る。自分で投げて自分でホーム
ランを打って1対0で勝った試
合や、勝てそうな試合の時には、
監督を無視して「ピッチャー金
田!」と言ってマウンドに出て
行く。これが「金田天皇」と言
われる所以です。

ロッテの監督時代に、日本シ
リーズの最中に独身選手を引き
連れて中洲のソープを借り切り、
そのお陰でロッテの日本一を勝
ち取ったと訳のわからない勝因
を言っていました。

「ワシが投げる球のスピード
は180kmは出ていた、手元で
ボールがホップするのでキャッ
チャーはグローブを上からかぶ
せて取っていた、大谷翔平など
まだ甘い」と言いたい放題。「酒
と女には溺れるな」が口癖で、
決して深酒はされず、ゴルフで
ワンラウンドするとビールをジ

宅のお子さんは妄想癖があり気
を付けるようにとのことでした。
非日常的過ぎて理解されないとい
う落ちがきました。

金田さんは片時も野球から離
れない、豪快でパフォーマン
ス好きな反面、繊細な人柄でした。

金田さんや名球会のメンバ
ーを通して言えることは、努力す
ることは当然ですが、繊細でな
い天才はいない、感性が人生を
造る、皆、神を信じている、そ
してすごい事をする人はいるが、
人間は個人に返れば皆同じとい
うことを感じました。

「ワシの葬式では、村田兆治
が弔辞を言う」とダジャレを
言っていました。葬儀では、そ
の言葉の通りに、村田兆治がロ
ッテ時代の感謝に心を込めて弔
辞を述べました。

また「お別れの会」は、1月
21日に長嶋・王・野村・張本・
原他名球界メンバーや石原慎太
郎さんから多くの参列者で行われ
ました。

豪快さも規格外の大投手・金
田正一さんのご冥福をお祈りい
たします。